

岡部靖憲(おかべ・やすのり)氏(明治大学特任教授, 東京大学名誉教授)が 2011 年 11 月 19 日, 逝去された。享年 68 歳。専門は確率論。

オーロラや地震など地球上の物理現象や日本の経済活動などについて, 数学的手法で解説した。

著書に『時系列解析における揺動散逸原理と実験数学』(日本評論社), 『実験数学』(朝倉書店), 『確率・統計』(朝倉書店)などがある。

本誌では「確率論の公理化」(1993 年 1 月号), 「複雑系と実験数学」(1997 年 5 月号), 連載「往復書簡——純粋数学 vs. 応用数学」(1994 年 4 月号~1995 年 3 月号)などをご執筆いただいた。

伊藤清三(いとう・せいぞう)氏(東京大学名誉教授)が, 2011 年 11 月 26 日, 肺炎のため逝去された。享年 84 歳。専門は関数解析学。

著書に, 『ルベーグ積分入門』(裳華房), 『拡散方程式』(紀伊國屋書店), 『函数解析と微分方程式』(共著, 岩波書店)などがある。

本誌では, 「数学 joke 集」(1968 年 9 月号), 「測度とは何か」(1972 年 1 月号), 「無限次元とはどのようなものか」(1983 年 10 月号)などをご執筆いただいた。

井関清志(いぜき・きよし)氏(神戸大, 鳴門教育大名誉教授)が 2011 年 3 月 14 日, 腎不全のため逝去された。享年 91 歳。専門は代数学。

著書に『現代数学——成立と課題』(共著, 日本評論社), 『記号論理学』(槇書店), 『集合と論理』(新曜社)などがある。

本誌では連載「数学の本のよみ方」(1971 年 4 月~7 月号)をはじめ, 「現代数学史のひとこま——18~19 世紀の数学からの話題」(1981 年 6 月号)など数多くご執筆いただいた。

小野山卓爾(おのやま・たくじ)氏(元・慶應義塾大)が 2011 年 7 月 11 日, 老衰のため逝去された。享年 87 歳。専門は確率論。

著書に『情報理論の基礎』(白日社)がある。

本誌では「確率および統計」(1969 年 5 月号, 特集「大学生の数学」)などをご執筆いただいた。

和達三樹(わだち・みき)氏(東京大名誉教授, 東京理科大)が 2011 年 9 月 15 日, 大腸癌のため逝去された。享年 66 歳。専門は数理物理学, 物性基礎論, 統計力学。

ソリトン理論の発展と結び目理論への応用により 1991 年度の仁科記念賞を受賞, 2004 年には紫綬褒章を受章した。

著書に『微分積分』, 『物理のための数学』, 『非線形波動』(いずれも岩波書店)などがある。

本誌では, 「物理学と数学の接点から」(1986 年 7 月号)ほか, 書評などでご登場いただいた。

岩堀長慶(いわほり・ながよし)氏(東京大名譽教授)が 2011 年 5 月 29 日, 老衰のため逝去された. 享年 84 歳. 専門は表現論.

著書に『2次元行列の世界』, 『対称群と一般線型群の表現論』(岩波書店), 『ベクトル解析』(裳華房)など, 訳書に『有限群の線型表現』(岩波書店)などがある.

本誌では「バランス・グラフ」(1967年12月号), 「立体基盤のます目上の正多角形」(1974年7月号)などをご執筆いただいた.

ダニエル・グレイ・キレン(Daniel Gray Quillen)氏が 2011 年 4 月 30 日, 逝去された. 享年 70 歳.

高次代数的 K 理論に関する功績により, 1975 年にコール賞, 1978 年にフィールズ賞を受賞した.

ト部東介(うらべ・とうすけ)氏(茨城大)が 2011 年 5 月 2 日, 山岳事故のため逝去された. 享年 57 歳. 専門は代数幾何学.

著書に『1次元代数的特異点とディンキン図形』(遊星社)などがある.

本誌では, 連載「不思議の複素数」などをご執筆いただいた.